

10. 薬剤科・副作用報告

報告書 No.	性別	年齢	被疑薬名 (成分名)	経路/剤型 (投与期間)	発現期間	処置	併用薬	副作用名 (重症度/症状分類)	治療 開始 回復期間	添付文書	評価	被疑薬使用疾患 (その他疾患)	経過
No.2013 0001	男性	50代	オムニバーク 300注シリンジ 125ml (イオヘキソールキット)	静注/デポ (125ml*1) 2013.3~1回	①6日 ②6日	終了	なし	①薬疹 (過敏 2/01皮膚) ②かゆみ (過敏 1/01皮膚)	①有/軽快 (10日) ②有/軽快 (10日)	①有 ②有	①可能性あり ②可能性あり	腰部・骨盤CT施行 (なし)	【経過のポイント】 検査3週間前: 食思不振、体重減少で外来を受診。 血液検査施行したがとくに異常はみられず。 感冒と診断され帰宅。腹部CTと上部内視鏡の予約をとる。 検査当日: 腹部CT施行。特に異常なく終了。 検査6日後: 腰から背部に皮疹出現。 内科を受診。 ボラミン注施行。アレグラ錠を処方され帰宅。 検査7日後: かゆみ増強で内科を再受診。
No.2013 0002	女性	60代	ランサップ400 (ランソプラゾール・アモキシシリン・クラリスロマイシンシート)	経口/Cap (1シート) 2013.03~7日	9日	終了	なし	薬疹 (過敏 1/01皮膚)	有/軽快 (17日)	有	可能性あり	ヘリコバクターピロリ感染 (慢性胃炎、過敏性腸症候群)	【経過のポイント】 開始5週間前: S食事とったあととれる。 AP: 慢性胃炎疑いで7ヶ月-20mg錠の前開始 開始2週間前: 採血結果ピロリ菌陽性内服開始 1日目: 朝食後ピロリ菌陽性にてランサップ内服開始 7日目: 飲み切り終了 9日目: ふとももから湿疹ができた。 自覚症状ないため気づかなかったが、その後背中に広がった。 かゆみはなし。 10日目: 受診。O下腹中心に半米粒から小豆大までの浮腫性紅斑数カ所。 観幹はなし (医師記録) AP: ランサップ
No.2013 0003	男性	50代	オムニバーク 300注シリンジ 125ml (イオヘキソールキット)	静注/デポ (1キット) 2013.5~1回	①1日 ②2日	終了	アロプリノール、ガモファーン、ディオバン	①薬疹 (過敏 2/13過敏症) ②痒み (過敏 1/13過敏症)	①有/軽快 (16日) ②有/軽快 (16日)	①有 ②有	①可能性あり ②可能性あり	造影CT (高血圧、高尿酸血症)	【経過のポイント】 検査8日前: 左背中~腰にかけて痛み出現 検査当日: 痛みが続くため受診。 尿管結石の疑いで造影CT行い、造影剤オムニバーク125mg投与。 検査1日後: 朝からまぶたが腫れ、顔全体が熱くなり他院受診。 アレルギー科へ一層と言われ帰宅した。 その後夕方より皮疹あり。 検査2日後: そう痒感あり。 検査5日後: 皮膚科受診。 顔面は落屑、脛前四肢にびまん性紅斑、前腕は丘疹多数
No.2013 0004 (2)	男性	60代	エルブラット点滴静注100mg (オキサリプラチン注射液)	静注/バイアル (150mg) 2013.1~2クール	32日	減量	グラニセトロン、カルチコール、硫酸マグネシウム補正液、レボホリナート、ボグリボース、アトルバスタチン、メトグルコ、アクトス、グリミクロン、センソサイド、ロキソニン、セルベックス、生食、5%ブドウ糖液	好中球減少 (血液 3/10血液)	有/回復 (8日)	有	可能性あり	直腸癌IIIb (2型糖原病 高脂血症)	【経過のポイント】 開始2ヶ月前: 直腸癌切除術施行 開始1日目: 術後補助化学療法としてmFOLFOX6 1クール目施行。 (WBC:5210 好中球:3037.43) 開始15日目: 2クール目施行。 (WBC:3690 好中球:1601.46) 開始32日目: 好中球減少のため3クール目延期。 (中止1日目) (WBC:2800 好中球:722.4) 中止5日目: 好中球改善なし、グラタン施行。 (WBC:3160 好中球:900.6) 中止8日目:
No.2013 0005	男性	70代	パセトシンカプセル250 (アモキシシリンカプセル)	経口/Cap (500mg*2) 2013.05~7日	7日	終了	アルファロール (0.25)、ロサルタンK (25)、アタラックスP (25)、レグパラ (25)	薬疹 (過敏 1/01皮膚)	有/軽快 (8日)	有	可能性あり	萎縮性胃炎、H. pylori感染 (慢性腎不全 (血液透析)、高血圧、2次性副甲状腺機能亢進症)	【経過のポイント】 前日: 消化器内科受診。 慢性萎縮性胃炎、H. pylori陽性にて7/24/25 (200) 2錠、7/27/27-KOD錠 (30) 2錠、7/28/28 (250) 4C分2 7日分処方 7日目: 発熱38°C、上半身を中心とした薬疹発現、掻痒感あり。 服用終了。 終了空白: 他院透析時「体幹、発赤赤」 当院皮膚科受診 (終了2日目): フロチド/30mg、アレグラ2錠分2、tバ/33C分3 3日分終了4日目: 皮疹
No.2013 0006	女性	70代	ゾシン静注用 4.5 (タゾバクタムナトリウム・ピペラシリンナトリウム静注用)	静注/バイアル (4.5g*2) 2013.6~10日	10日	中止	トラムセト、ノバミン、ツムラ100大建中湯、マグミット、センソサイド、ガモファーン、ダイビタミックス、ソルテム3A、生食、生食水	肝障害 (肝臓 2/07肝・胆)	無/回復 (8日)	有	可能性あり	複雑尿路感染 (萎縮性膀胱 子宮癌術後副腎機能異常 便秘症 腰部脊髄神経痛)	【経過のポイント】 開始3日前: 下腹部痛で受診。 尿路感染症疑いで入院となりセフトリアキサム6g 3x開始となる 開始1日目: 膀胱カテーテル長期留置であり、複雑性尿路感染としゾシン9g 2x開始となる。 開始10日目: AST、ALT上昇。腹部エコー・胸部部CT施行。 (中止1日目) 身体所見、画像所見から原因となるものは指摘できないため、薬剤性肝障害を疑いゾシン中止となる。 (AST3)
No.2013 0007	女性	60代	アレビアチン錠 100mg (フェニトイン錠)	経口/錠 (100mg*1) 2013.5~7日	5日	中止	ワソラン、マグラックス、ワーファリン、ランソプラゾール、フロセミド、スピロノラクトン、ボグリボース、ジャヌビア、イコサセント酸エチル	肝機能障害 (肝臓 2/07肝・胆)	無/回復 (37日)	有	可能性あり	症候性てんかん (糖尿病 高脂血症 心臓性脳梗塞 心臓動脈硬化 難治性逆流性食道炎)	【経過のポイント】 開始2日前: はいれん発作にて入院。AST: 19、ALT: 22 開始日: アレビアチン錠100mg投与開始 開始5日目: AST: 59、ALT: 114 開始7日目: AST: 76、ALT: 186 フェニトイン血中濃度も十分でなく、(中止1日目) 肝酵素上昇しているためアレビアチン中止。 テグレトール開始となる。 中止3日目: AST: 51、ALT: 145 中止8日目: AST: 29、ALT: 103 中止37日目: AST: 19、ALT: 32 肝機能

報告書 No.	性別	年齢	被疑薬名 (成分名)	経路/剤型 (用量)	発現期間	処置	併用薬	副作用名 (重症度/症状分類)	治療 転機 回復期間	添付文書	評価	被疑薬使用疾患 (その他原疾患)	経過
No.2013 0009	男性	50代	テグレトール錠 100mg (カルバマゼピン錠)	経口/錠 (100mg*2) 2013.5~ 36日 (間13日中止含む)	34日	中止	テグレトール錠 30mg、ドパミン錠 200mg、β2刺激薬 100mg、β2刺激薬 500μg、ドパミン錠 80mg、β2刺激薬 60mg、β2刺激薬 100mg	薬剤性過敏性症候群 (過敏 2/01皮膚)	有/軽快 (27日)	有	可能性あり	動脈神経痛 (C型痛 性肝炎、難治性逆流 性食道炎、高血圧 症、末梢神経障害、 肝細胞癌)	【経過のポイント】 開始60日前：原発性肝細胞癌ラジオ治療 開始8日：テグレトール効果なく、一旦中止となる。 ロキソニン、ガバペン増量となる。 開始22日：痛み継続のため、テグレトール200mgで再開となる。 開始34日：39.4度の発熱あり。 開始36日：当院受診。体温は40度。 (中止1日目) テグレトール中止となる。 白血球：3960、好酸球：170.28 中止8日目：顔に皮膚出現。 中止
No.2013 0010	女性	70代	バクタリン配合錠 (スルファメトキサゾールナトリウム)	経口/錠 (2錠*2) 2013.6~ 13日	8日	中止	バイアスピリン、ロキソニン、レバミピド、ガモファール(20)、ワ77錠(ワ77錠5)	中等毒 (過敏 2/01皮膚)	有/軽快 (12日)	有	可能性あり	変形性膝関節症手術後炎症抑制 (腫瘍病) (動脈硬化症、高血圧性腎炎、変形性膝関節症、腰部慢性狭窄症)	【経過のポイント】 開始2ヶ月前：変形性膝関節症手術 (TKA) 開始日：整形外来 CRP2.19 バクタリン4錠、ワ77錠(ワ77錠5)3錠/日開始 から服用。 開始8日目：S上腹と首に小さい発赤が数個出現。かゆみなし。 開始13日目：S朝まで服用し、外来受診待ちの間に紅斑が広がった。 (中止1日目) 胸、足にかけて完全に広がった。 P内科医師バクタリンのみ服用中止を指示。 中止2日目：S皮膚赤みや軽減 中止3
No.2013 0011	男性	50代	セラピナ配合顆粒 (非βリン系 感受剤 (4) 顆粒)	経口/顆粒 (1g*3) 2013.07~ 2日	1日	中止	レナジェル、バイアスピリン、ランソプラゾール錠、アムロジピン、レガバネ、オスロ、大建中湯、セルベックス 当院薬のみ	薬疹 (過敏 1/01皮膚)	無/回復 (2週間)	有	ほぼ確実	感冒 (DM、髄膜炎、心筋梗塞、HD、腎臓病、二次性副甲状腺亢進症、弛緩性便秘)	【経過のポイント】 208日前：感冒により、セラピナ処方 150日前：セラピナ服用し、腕や背に水ぶくれや皮がめくれしてきた。 服用後1日目：顔からセラピナ服用。 服用後2日目：腕、腰や背に水ぶくれや皮がめくれしてきた。 服用後3日目：顔までセラピナ服用。夕からは服用中止。 (中止1日目) 服用中止14日目：薬疹ほぼ改善。
No.2013 0012	女性	50代	グムシタピン点滴静注用1g 「ヤケルト」 (塩酸グムシタピン注射用)	静注/バイアル (1200mg*1) 2013.6~ 3ヶクール	78日	継続	グシタピド、生食塩水、ワ77錠(3A、70錠(5mg)、セ77錠(12mg)、ワ77錠(5mg)、ワ77錠(10mg)、ワ77錠(5mg)、ワ77錠(5mg)、ワ77錠(5mg)、ワ77錠(5mg)	好中球減少 (血液3/10血液)	有/回復 (7日)	有	可能性あり	肺癌 (多発肝転移、便秘症、慢性腎臓病、統合失調症、化学療法に伴う嘔気、胸水)	【経過のポイント】 肺癌によりGEM療法。 多発肝転移により肝機能低下・黄疸を認め、80%Dose (1200mg) で開始となる。 開始1日目：1ヶクール目1回目投与 (WBC:12570 Plt:20.2) 開始8日目：血小板減少により1ヶクール目2回目投与中止 (WBC:15720 好中球:10076 Plt:6.9) 開始15日目：血小板改善したため、1ヶクール目2回目施行する。(WBC:16340 好中球:16340 Plt)
No.2013 0013	女性	50代	グムシタピン点滴静注用1g 「ヤケルト」 (塩酸グムシタピン注射用)	静注/バイアル (1200mg*1) 1回	8日	継続	グシタピド、生食塩水、ワ77錠(3A、70錠(5mg)、セ77錠(12mg)、ワ77錠(5mg)、ワ77錠(10mg)、ワ77錠(5mg)、ワ77錠(5mg)、ワ77錠(5mg)	血小板減少 (血液2/10血液)	無/回復 (6日)	有	可能性あり	肺癌 (多発肝転移、便秘症、慢性腎臓病、統合失調症、化学療法に伴う嘔気、胸水)	【経過のポイント】 肺癌によりGEM療法。 多発肝転移により肝機能低下・黄疸を認め、80%Dose (1200mg) で開始となる。 開始1日目：1ヶクール目1回目投与 (WBC:12570 Plt:20.2 AST:134 ALT:144 総Bil:2.2) 開始8日目：血小板減少により1ヶクール目2回目投与中止。(中止1日目) (WBC:15720 Plt:6.9 AST:98 ALT:123 総Bil:3.9) 中止6日目：血小板改善。
No.2013 0014	男性	10代	パナセファン錠 100mg (セフトキシムプロキサセチル錠)	経口/錠 (100mg*2) 2013.9~ 2日	3日	中止	ゲンタンシ軟膏(1%)	中等毒 (過敏 1/01皮膚)	有/回復 (21日)	有	可能性あり	母趾化膿性関節炎 (特になし)	【経過のポイント】 開始日：母趾化膿性関節炎でパナセファン開始。 開始3日目：顔と足に発赤が数個出現。かゆみあり。服用中止。 中止4日目：当院外来受診。 医師より、パナセファンによる中等毒の可能性ありと判断。 パナセファン中止しアレグラ開始 中止6-7日目：ほぼ改善。 中止21日目：あとも残らず改善。
No.2013 0015 (2)	女性	50代	リクタン注射液600mg (リン酸クワンシマイン注射液)	静注/アンプル (600mg*3) 2013.9~ 10日	①10日 ②10日	中止	カロナール錠 (200mg)、ロキソニン錠 (60mg)、セルベックスカプセル (50mg)、ランソプラゾールOD錠 (15mg)、生食塩水 カロナール錠 (200mg)、ロキソニン錠 (60mg)、セルベックスカプセル (50mg)、ランソプラゾールOD錠 (15mg)、生食塩水	①薬疹 (過敏 2/01皮膚) ②そう痒 (過敏 1/01皮膚)	①有/回復 (14日) ②有/回復 (11日)	①有 ②有	①可能性あり ②可能性あり	溶連菌感染溶連菌感染 (膿瘍)	【経過のポイント】 開始日：溶連菌感染疑いにて入院。 ピクシリン8g 4x、リクタンシ1800mg 3x投与開始 もともと広域ペニシリンでアレルギー一症であったことが、溶連菌感染の重症化しないう、上記2剤を投与となった。 10日目：背腰痛出現あり。 (中止1日目) ピクシリン・リクタンシは中止へ 中止2日目：掻痒感強い。 中止3日目：全身に皮膚広がっている。皮膚科対診あり。
No.2013 0016 (2)	女性	70代	レバミピド錠 100mg (NP) (レバミピド錠)	経口/錠 (100mg*2) 2013.9~ 14日	①14日 ②14日	中止	ワ77錠点滴静注用、生食、ワ77錠 (15mg)、ア77錠 (100mg)、ア77錠 (8mg)、セ77錠 (200mg)、セ77錠 (10mg)、セ77錠 (15mg)、ワ77錠点滴静注用、生食、ワ77錠 (15mg)、ア77錠 (100mg)、ア77錠 (8mg)、セ77錠 (200mg)、セ77錠 (10mg)、セ77錠 (15mg)	①薬疹 (過敏 1/01皮膚) ②かゆみ (過敏 1/01皮膚)	①有/回復 (5日) ②有/回復 (5日)	①有 ②有	①可能性あり ②可能性あり	NSAIDs内服の胃炎予防 (甲状腺機能低下症、高血圧、白内障、慢性動脈閉塞症に基づく潰瘍、疼痛及び冷感等の虚血性症状の改善)	【経過のポイント】 開始14日目：夜間首の痛みがあり。 (中止1日目) 次診部内服にもかかわらず、そう痒程度あり。粘膜炎なし。 開始1日目：人工股関節全置換術施行。 セフマゾンは4日間投与した。 開始1日目：術後疼痛に対してハイベン・レバミピド、リクシアン内服開始。 リクシアンは7日間飲みきり終了。 開始14日目：夜間首の痛みがあり。 (中止1日目) 次診部内服にもかかわらず、そう痒程度あり。粘膜炎なし。 開始1日目：人工股関節全置換術施行。 セフマゾンは4日間投与した。 開始1日目：術後疼痛に対してハイベン・レバミピド、リクシアン内服開始。 リクシアンは7日間飲みきり終了。 開始14日目：夜間首の痛みがあり。 (中止1日目) 次診部内服にもかかわらず、そう痒程度あり。粘膜炎なし。 開始1日目：人工股関節全置換術施行。 セフマゾンは4日間投与した。 開始1日目：術後疼痛に対してハイベン・レバミピド、リクシアン内服開始。 リクシアンは7日間飲みきり終了。
No.2013 0017	女性	70代	グムシタピン点滴静注用1g 「ヤケルト」 (塩酸グムシタピン注射用)	静注/バイアル (1000mg*1) 2013.10~ 1回	①8日 ②8日	減量	ランタス注、ナバ、ミカルディス (40)、バイアスピリン、ボナロン (35)、アピス (0.5)、セ77錠 (100mg)、レスタニョウワクリム、ノボラピッド30ミックス注、グラニセロン、生食塩水	①好中球減少 (血液3/10血液) ②腎機能障害 (血液2/07肝・胆)	①無/回復 (6日) ②無/未回復	①有 ②有	①可能性あり ②可能性あり	肺癌 (糖尿病、高血圧、骨粗鬆症、便秘、脳梗塞予防、肝臓転移)	【経過のポイント】 肺癌によりGEM療法、80%Doseの1000mgで開始となる。 開始1日目：1ヶクール目1回目開始 開始8日目：好中球減少より1ヶクール目2回目投与中止 (中止1日目) (WBC:2210、好中球:789、AST:161、ALT:170、LDH:286、ALP:252)

報告書 No.	性別	年齢	被疑薬名 (成分名)	経路/剤型 (用量)	発現期間	処置	併用薬	副作用名 (重症度/症状分類)	治療 転機 回復期間	添付文書	評価	被疑薬使用疾患 (その他原疾患)	経過
No.2013 0018	女性	40代	ランソップ400 (ランソプラゾール・アモキシシリン・クラリスロマイシンシート)	経口/Cap (1シート) 2013.9~ 7日	11日	終了	なし	薬疹 (過敏 1/01皮膚)	有/軽快 (4日)	有	可能性あり	ヘルピコバクター・ピロリ感染症 (特になし)	【経過のポイント】 開始1日目：ヘルピコバクター・ピロリ感染症の除菌として、ランソップ400内服開始。 開始6日目：37.2度の発熱、咳嗽、鼻水あった。下痢なし。 開始7日目：ランソップ7日間飲みきり終了。 (終了日) 終了4日：発熱に対する治療のため入院。 感冒症状は改善。 診察待ちの間に、お腹、背中、足に発赤出現。かゆみあり。 アピス錠20mg2x、ワ77錠10mg2x、ワ77錠20mg2x処方。 終了後7日：再入院。かゆみはおさま
No.2013 0019 (2)	女性	20代	アスベリン錠20 (ヒペナシ酸ナトリウム)	経口/錠 (20mg*3) 2013.1~ 3日	①3日 ②3日	中止	アスベリン錠20 (ヒペナシ酸ナトリウム)	①皮膚 (過敏 2/01皮膚) ②掻痒 (過敏 1/01皮膚)	①有/回復 (4日) ②有/回復 (4日)	①有 ②有	①ほぼ確実 ②ほぼ確実	気管支炎 (特になし)	【経過のポイント】 1年半前、急性上気道炎にて当院よりカロナール、アスベリン処方あり、服用後発赤出現している。 投与1日目：インフルエンザ検査陽性。 対症療法としてカロナール錠、アスベリン錠、トナケキサム錠、ムコトロン錠 (250mg) 処方。 投与3日目：皮膚出現、当院皮膚科受診。 (中止1日目) 四肢に点状紅斑多発。そう痒あり。体幹は軽微。 カロナール・アスベリンは以前にも皮膚出現しているで中止。エバステン錠 (5mg) 2T2x、ネオファ
No.2013 0020	女性	50代	クラビット錠 500mg (レボフロキサシキ水合物錠)	経口/錠 (500mg*1) 2013.1~ 3日	3日	終了	クラビット錠 500mg (レボフロキサシキ水合物錠)	中等毒 (過敏 1/01皮膚)	有/回復 (7日)	有	可能性あり	急性気管支炎 (腎臓病、アレルギー性気管支炎、慢性気管支炎、慢性腎臓病)	【経過のポイント】 開始1日目：肺炎疑いにて他院よりクラビット錠 (500mg) 3日分処方あり。 開始3日目：クラビット飲みきり終了。皮膚出現。 開始5日目：当院内科受診。急性気管支炎とし、クラビット錠 (500mg) 2錠2xへ変更。 当院皮膚科受診。肘関節部の関節炎に紅色丘疹集した局面。 エバステン錠 (5mg) 2錠2x、ジワール軟膏処方あり。 終了8日目：症
No.2013 0021	男性	50代	クラビット点滴静注用100mg (レボフロキサシキ水合物キット)	静注/ボトル (500mg*1) 2013.10~ 2日	①4時間 ②1日	中止	クラビット点滴静注用100mg (レボフロキサシキ水合物キット)	①中等毒 (過敏 2/01皮膚) ②掻痒 (過敏 1/01皮膚)	①有/回復 (4日) ②有/回復 (4日)	有	可能性あり	レジオネラ肺炎 (特になし)	【経過のポイント】 開始1日目：クラビット注500mg点滴。 クラビット静注後に発赤あり。 掻痒感もなく全身状態の悪化はないため、経過観察。 クラビットによる薬疹の疑い強いが、他の治療へ変更は難しいため、継続することとなった。 開始2日目：クラビット注500mg点滴。 静脈の走行部に一致して発赤出現。 両腕の下腕部、両腕部、体幹外周に発赤と掻痒感を伴う発赤あり。
No.2013 0022 (3)	女性	60代	エルプラット注射用100mg (オキサリプラチン注射用)	静注/バイアル (100mg) 2013.4~ 7ヶクール	57日	継続	アビタックス注射液100mg (セツキシマブ (遺伝子組換え) 注射液)	好中球減少 (血液3/10血液)	無/軽快 (8日)	有	可能性あり	直腸がん、転移性肺がん (がん性疼痛、化学療法に伴う嘔気) 直腸がん、転移性肺がん (がん性疼痛、化学療法に伴う嘔気) 直腸がん、転移性肺がん (がん性疼痛、化学療法に伴う嘔気)	【経過のポイント】 開始1日目：術後補助化学療法としてmFOLFOX3+Cmab 1ヶクール目Day1施行 (WBC:7370 好中球:4687) 開始6日目：1ヶクール目Day8施行 (WBC:3800 好中球:1919) 開始15日目：本人の予定より2ヶクール目自行開始。 開始22日目：2ヶクール目Day1施行 (WBC:4640 好中球:1688) 開始29日目：2ヶクール目Day8施行 (WBC:4570 好中球:1663) 開始36日目：3ク
No.2013 0023	女性	60代	フェジオン錠400mg (含糖酸化注射液)	静注/アンプル (40mg*1) 2013.9~ 1回	①5分 ②5分	中止	フェジオン錠400mg (含糖酸化注射液)	①口内 (その他1/06腎臓)	①無/回復 (95分)	無	可能性あり	鉄欠乏性貧血 (変形性股関節症)	【経過のポイント】 開始39日前：自己血400ml採血 開始24日前：自己血300ml採血 開始18日前：自己血300ml採血 投与3日前：両変形性股関節症にて、人工股関節全置換術骨移植施行 開始5分後：口内、気分不快あり、注射を中断する。 悪心あるも嘔吐なし。医師報告し、フェジオンの中止。 経過観察 中止1時間35分後：「気分不快は、なくなりました。」と話される。 中止9日後：Hb8.1
No.2013 0024	男性	30代	アザルファジン錠500mg (サラソソルプロピルジリン酸塩)	経口/錠 (500mg*2) 2013.10~ 14日間	12日	中止	アザルファジン錠500mg (サラソソルプロピルジリン酸塩)	ステアロイド性関節炎 (過敏 3/01皮膚)	有/軽快 (19日)	有	可能性あり	関節リウマチ (特になし)	【経過のポイント】 開始1日：関節リウマチにて1ヶクールより アザルファジン錠500mg+2+1錠2.5mgへ変更 開始12日：首の側面に発赤、腫脹。 開始13日：(内科受診) S発赤、腫脹が上半身に広がる。 首の周りがチクチクする感じあり。触ってみると首の周りが腫れていた。 リウマチの痛みはよくなってきた。 O関節症程度腫脹するランソップ処方あり。 開始13日夜：夜から顔のチクチク感が広がり、全身の

報告書 No.	性別	年齢	被疑薬名 (成分名)	経路/剤型 (用量/期間)	発現期間	処置	併用薬	副作用名 (重症度/症状分類)	治療 転機 回復期間	添付文書	評価	被疑薬使用疾患 (その他疾患)	経過
No.2013 0025 (3)	女性	60代	ノバミン錠 5mg (マレイン酸プロクロロペラジン錠)	経口/錠 (5mg*3) 2013.11~14日	14日	中止	コニール、ゼチア、フェンタニル注、アナペイン注0.2%、セファマリン点滴用、コニール、ゼチア、フェンタニル注、アナペイン注0.2%、セファマリン点滴用	AST、ALT上昇 (肝臓 1/07肝・胆)	無/回復 (7日)	有	可能性あり	変形性関節症 (高血圧、脂質異常症)	前日 : 変形性関節症手術 開始日 : リクシアナ、トラマール、ノバミン開始 AST24、ALT15 開始3日 : AST17、ALT10 開始7日 : AST35、ALT34 リクシアナ投与終了 開始14日 : AST80、ALT75 (中止1日) 夕食後よりトラマール、ノバミンを中止し、ロキソニン、レバミピドへ変更 中止8日 : AST21、ALT36
			リクシアナ錠 15mg (トシル酸エドキシサン水和物錠)	経口/錠 (15mg*1) 2013.11~7日	14日	終了	コニール、ゼチア、フェンタニル注、アナペイン注0.2%、セファマリン点滴用	AST、ALT上昇 (肝臓 1/07肝・胆)	無/回復 (7日)	有	可能性あり	変形性関節症 (高血圧、脂質異常症)	
			トラマールカプセル 2.5mg (塩酸トラマールカプセル)	経口/Cap (25mg*3) 2013.11~14日	14日	中止	コニール、ゼチア、フェンタニル注、アナペイン注0.2%、セファマリン点滴用	AST、ALT上昇 (肝臓 1/07肝・胆)	無/回復 (7日)	有	可能性あり	変形性関節症 (高血圧、脂質異常症)	
No.2013 0026	女性	10代	プリンペラン錠 5 (メトクロプラミド錠)	経口/錠 (10mg*3) 2013.10~1日	1日	中止	アンブロキシソール、フラベリック、アレロック、ナゾネック点鼻薬、ジスロマック	ジスロマア (腫瘍外科腫瘍) (精神科 3/03精神・神経)	有/回復 (1日)	有	可能性あり	感冒 (逆流性食道炎)	【経過のポイント】 開始4日前: 発熱・鼻汁・咳認め、他院耳鼻科受診。 感冒薬 (バネトシオン、アンブロキシソール・フラベリック、アレロック・ナゾネックス点鼻) 処方開始3日 : 37.5度の発熱続くため、再受診し抗生薬 (ジスロマック) 処方された。 開始1日目 : 解熱したが、吐き気認め内科受診。 プリンペラン、ガスモチン処方された。 夜より頭部痛、右胃痛、吐き気、ふらつきあり。 開始2日目 : 当院整形外科・小児科受診。精査目的で入院となった。(中止1)
No.2013 0027	男性	60代	セラピビ配合顆粒 (非ビリン系 感冒薬 (4) 顆粒)	経口/顆粒 (1g*3) 2013.11~5日	①3日 ②3日	終了	ウルソデオキシコール酸100mg、メルゾール錠5mg、ヒダントールF錠	①薬疹 (過敏 1/01皮膚) ②痛み (その他 1/01皮膚)	①有/回復 (16日) ②有/回復 (16日)	①有 ②無	①可能性あり ②可能性あり	感冒 (C型肝炎、肝硬変、Basedow 病、クモ膜下出血後遺症性癱瘓)	【経過のポイント】 開始1日目 : 重症ヘルニア術前検査で受診。風邪気味でセラピビ5日分処方 開始3日目 : 外尿道口、陰茎亀頭部に指頭大浮腫性紅斑とびらん出現。 痛みあり。痒み無し。 開始5日目 : 飲みきり終了 終了1日目 : 皮膚科受診、びらん状の皮膚、痛みは落ち着いてきている。 痒み無し。 P外用薬 (テラコートリル)、内服薬 (ソランタール) 処方。 終了16日目 : 重症ヘルニア術にて入院時は改善している。
No.2013 0028 (3)	女性	50代	タクアロンカプセル 30	経口/Cap (30mg*2) 2013.12~7日	①7日 ②7日 ③7日	終了	なし	①薬疹 (過敏 2/01皮膚) ②痒疹 (過敏 1/01皮膚) ③発熱 (過敏 1/13過敏症)	①有/回復 (13日) ②有/軽快 (13日) ③無/回復 (1日)	①有 ②有 ③有	①可能性あり ②可能性あり ③可能性あり	H.pyloriの除菌 (特に無し)	【経過のポイント】 開始1日目 : H. pyloriの除菌のため内服開始 開始5日目 : 痒疹あり 開始7日目 : 首の周りに痒み、腕に発赤、発熱 (38.5°C) (終了) 終了1日目 : 皮膚科受診。首や腕の腫脹、胸の痛み、全身発赤、痒み P: 点選 (ネオファーマン、ボララミン、サクシゾン) 内服 (ブレドニゾン30mg、セルベックス、エバステン20mg、ファモチジン) 開始 点滴終了後解熱
			クラリス錠 200 (クラリスロマイシン錠)	経口/錠 (200mg*2) 2013.11~7日	①7日 ②7日 ③7日	終了	なし	①薬疹 (過敏 2/01皮膚) ②痒疹 (過敏 1/01皮膚) ③発熱 (過敏 1/13過敏症)	①有/回復 (13日) ②有/軽快 (13日) ③無/回復 (1日)	①有 ②有 ③有	①可能性あり ②可能性あり ③可能性あり	H.pyloriの除菌 (特に無し)	
			サワシリンカプセル 250 (アモキシシリンカプセル)	経口/Cap (750mg*2) 2013.11~7日	①7日 ②7日 ③7日	終了	なし	①薬疹 (過敏 2/01皮膚) ②痒疹 (過敏 1/01皮膚) ③発熱 (過敏 1/13過敏症)	①有/回復 (13日) ②有/軽快 (13日) ③無/回復 (1日)	①有 ②有 ③有	①可能性あり ②可能性あり ③可能性あり	H.pyloriの除菌 (特に無し)	
No.2013 0029	女性	60代	ピリスコピン点 滴静注50 (イオ トロキサニルメグ ルミン注静注)	静注/バイアル (100ml*1) 2012.12~1日	①数時間 ②数時間	終了	レザルタスLD、ラベ プラゾールNa錠、ク レスロール、ペロ リック、マックター ゼ	①ふるえ (悪 寒) (過敏 1/13過敏症) ②発赤 (過敏 2/01皮膚)	①有/回復 (数時間) ②有/回復 (数時間)	①有 ②有	①可能性あり ②可能性あり	尿石、足のうらみ痛 形 (高血圧、脂質異常 症、慢性腎炎)	【経過のポイント】 開始日 : DIC (図義血管造影検査) を行うため、ピリスコピン100ml 投与。 開始5分後 : 異常無しを看護師確認 開始15分後 : 異常無しを看護師確認 開始約1時間後 : 異常無しを看護師確認 投与時の血管痛なし、投与後の悪心・嘔吐なし 投与後の血管外漏出し 終了約1時間後 : ピリスコピン投与後CT検査待っていたところ、悪寒 (+)、 CT後ふるえとまらず、 全身に発赤疹 (+)、喉
No.2013 0030	男性	10代	(A) オージェン チン配合錠 125 S S (アモ キシリン・ク ラブラン酸カリ ウム錠) (B) オージェン チン配合錠 250 R S (アモキシ シリン・クラブ ラン酸カリウム 錠)	(A) 経口/錠 (125mg*1) 2013.12~9日 (B) 経口/錠 (250mg*1) 2013.12~9日	①9日 ②9日 ③9日	(A) 中止 (B) 中止	ビオフェルミン錠	①中毒症 (過敏 2/01皮膚) ②悪心 (消化 器 1/06胃腸) ③嘔吐 (消化 器 1/06胃腸)	①有/軽快 (6日) ②無/不明 ③無/不明	①有 ②有 ③有	①可能性あり ②可能性あり ③可能性あり	溶連菌感染症疑い (特に無し)	【経過のポイント】 開始1日目 : 他院にて溶連菌感染症疑いでオージェンチンの処方あり、服用開始。 開始8日目 : 朝から気持ちが悪く、起きられない。食欲無し。嘔吐あり。 開始9日目 : 朝から悪寒が出現。体全体に症状あり。特に顔で悪寒が顕著。(中止1日目) 近所の小児科病院へ行き、 オージェンチンによる薬疹疑いと診断される。 セレスタミン配合錠 2 T 2 x、アレグラ (30) 2 T 2 xが処方 される。 オージェンチン中止。 中止2日目 : 当院皮膚科受診。体調は変わらず。軽快見られ
No.2013 0031 (2)	男性	20代	グラシリンカプセル 150mg (塩酸 クリンダマイシン カプセル)	経口/Cap (150mg*4) 2013.7~2日	1日	中止	なし	皮膚 (過敏 2/01皮膚)	有/軽快 (5日)		可能性あり	扁桃炎 (特に無し)	【経過のポイント】 扁桃炎にて入院。 入院中ユナスピン注、リンチン注投与。 退院時、ユナスピン錠、グラシリンCap処方となる。 内服1日目 : 前腕と手首に紅斑と痒み出現。 内服2日目 : 顔と頬に紅斑出現。 中止1日目 : 皮膚科へ受診し、抗生剤での中毒症の可能性ありとなる。 アレグラ (60mg) 2 T 2 x、ロコイドクリーム、ジワラールク リーム処方。 中止2日目 : 再度受診し、特に症状として昨日と比べ変化はない。 アレグラ (60mg) 2 T 2 x、PSL 30 mg、ガモファア (10) 4日開
			ユナスピン錠 37.5mg (トシル酸スル タミシリン錠)	経口/錠 (37.5mg*3) 2013.7~2日	1日	中止	なし	皮膚 (過敏 2/01皮膚)	有/軽快 (5日)	有	可能性あり	扁桃炎 (特に無し)	

報告書 No.	性別	年齢	被疑薬名 (成分名)	経路/剤型 (用量/期間)	発現期間	処置	併用薬	副作用名 (重症度/症状分類)	治療 転機 回復期間	添付文書	評価	被疑薬使用疾患 (その他疾患)	経過
No.2013 0032 (3)	男性	50代	(A) ベグイントロン皮下注用 100μg / 0.5ml用 (ベグイ ンターフェロン アルファ-2 b (遺伝子組換え) 注射液) (B) ベグイントロン皮下注用 100μg / 0.5ml用 (ベグイ ンターフェロン アルファ-2 b (遺伝子組換え) 注射液)	(A) 皮下注/バ イアル (100μg (週1 回)) 2013.6~ 22日 (B) 皮下注/バ イアル (80μg (週1 回)) 2013.7~ 25日	①22日 ②3日 ③8日	(A) 減量 (B) 継続	ランソプラゾール OD (30mg)、ロン フルマン (0.25mg)、カロ ナール (200mg)、 プロクトセチル軟 膏	①尿酸値上昇 (その他 1/11 腎・泌尿器) ②皮膚・かゆ み (過敏 3/01皮膚) ③腎機能障害 (腎臓 1/11 腎・泌尿器)	①有/回復 (8日) ②有/軽快 (15日) ③有/回復 (3日)	①有 ②有 ③有	①可能性あり ②可能性あり ③可能性あり	C型慢性肝炎 (腎臓病、不眠症、痔)	開始1日目 : ジェノタイプ1型、高ウイルス量にてC型肝炎の治療開始 (CRE.0.94、UA : 7.9) テラビック250mg3x、レボトル800mg、ベグイントロン 100μg 開始3日目 : 膝、足関節周囲に紅斑と痒みあり。 開始8日目 : 外来受診。腎機能悪化あり、1日5食となるストレスもあり テラビック1500mg 2xへ減量 (CRE1.26 UA : 7.3) 開始15日目 : 皮膚あるが、それほどではない。(CRE1.2 UA : 8
			レボトルカプセル 200mg (リ バビリンカプセル)	経口/Cap (400mg*2) 2013.6~47日	①22日 ②3日 ③8日	継続		①尿酸値上昇 (その他 1/11 腎・泌尿器) ②皮膚・かゆ み (過敏 3/01皮膚) ③腎機能障害 (腎臓 1/11 腎・泌尿器)	①有/回復 (8日) ②有/軽快 (15日) ③有/回復 (3日)	①有 ②有 ③有	①可能性あり ②可能性あり ③可能性あり	C型慢性肝炎 (腎臓病、不眠症、痔)	
			(A) テラビッ ク錠 250mg (B) テラビッ ク錠 250mg	(A) 経口/錠 (750mg*3) 2013.6~ 8日 (B) 経口/錠 (750mg*2) 2013.6~ 39日	①22日 ②3日 ③8日	(A) 減量 (B) 中止		①尿酸値上昇 (その他 1/11 腎・泌尿器) ②皮膚・かゆ み (過敏 3/01皮膚) ③腎機能障害 (腎臓 1/11 腎・泌尿器)	①有/回復 (8日) ②有/軽快 (15日) ③有/回復 (3日)	①有 ②有 ③有	①可能性あり ②可能性あり ③可能性あり	C型慢性肝炎 (腎臓病、不眠症、痔)	